級別に取り組む、漢字の問題プリント

漢字ドリル

漢検 準2 級

第44巻　問題のみ

読み、書き、くり返し。

35字

この巻で学ぶ漢字

この巻で取り組む漢字の一部

炉 炊 炎 焦 牲 犠

問題にじっくり取り組む

本文 29ページ・答えは各用紙のQRから

diglabo.com

diglabo

漢検の級別配当を参考にした独自教材です。公式問題集ではありません。

じゅん2きゅう 44かん たんい1 A

なまえ

/ 14

1. 洋館の居間で 暖(だん) □(ろ) の火が燃える
2. かぜをこじらせて 肺(はい) □(えん) になる
3. 鉄板の表面に □(あ) 鉛(えん) をめっきする
4. 沖縄は □(あ) 熱(ねっ) 帯(たい) の気候だ
5. 点検で 原(げん) 子(し) □(ろ) を止める
6. □(えん) 天(てん) 下(か) の練習で汗をかく
7. 毎朝家族のご飯を 炊 く □
8. 結果を 焦 る あまり無理をする □
9. 環境を 犠 牲 にした開発を見直す □
10. 夏の夜にほたるが 光 る □
11. 下宿先で毎日 自 炊 する □
12. 議論の 焦 点 がずれる □
13. たき火の火の粉で服が 焦 げる □
14. 送りバントの 犠 打 で走者を進める □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 44かん たんい1 A-2

なまえ

/ 13

1. 品質を 犠(ぎ) □(せい) にして値段を下げる
2. 有名画家の □(あ) 流(りゅう) にとどまる作品
3. ベンガルトラはトラの □(あ) 種(しゅ) だ
4. 寺の 香(こう) □(ろ) から煙が立ち上る
5. SNSの発言が □(えん) 上(じょう) する
6. 口(こう)内(ない) □(えん) ができて痛い
7. 犠(ぎ) □(せい) 打(だ) で勝ち越す
8. 虫眼鏡で日光を集めて紙を 焦がす □
9. 都会の暮らしに 焦がれる □
10. 朝の 日光 をあびて目をさます □
11. 月光 が海をてらしている □
12. 被災地で 炊き出し が行われる □
13. 冷めた風呂(ろ)を 追い炊き する □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 44かん たんい1 B

なまえ

/ 14

1. 下宿先で毎日 自(じ)□(すい) する
2. 議論の □(しょう) 点(てん) がずれる
3. ふとんに 日(にっ) □(こう) を当ててほす
4. 夜のまどから 月(げっ) □(こう) がさしこむ
5. 古い □(すい) 飯(はん) 器(き) を買い替える
6. 結果が出ず □(しょう) 燥(そう) の色を隠せない
7. 洋館の居間で 暖炉 の火が燃える □
8. かぜをこじらせて 肺炎 になる □
9. 品質を 犠牲 にして値段を下げる □
10. 恐竜が栄えた 白亜紀 の地層を調べる □
11. ヒット作の 亜流 が次々に現れる □
12. 製鉄所の 高炉 に火が入る □
13. 真夏の 炎暑 が続く □
14. 交通事故の 犠牲者 を減らす取り組み □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 44かん たんい1 B-2

なまえ

/ 14

1. 環境を□(ぎ)牲(せい)にした開発を見直す
2. ヒーローが手から□(こう)線(せん)を出す
3. 外国の人が観(かん)□(こう)に来る
4. 林間学校で□(すい)事(じ)の係になる
5. 鍋(なべ)の残りのだしで雑(ぞう)□(すい)を作る
6. 戦争で町が□(しょう)土(ど)と化した
7. たき火の火の粉で服が□(こげる)
8. 九回に□(ぎ)飛(ひ)で一点を返す
9. 北海道の大部分は亜寒帯に属する □
10. 亜麻色の長い髪が風になびく □
11. 古民家の囲炉裏で魚を焼く □
12. 学校の焼却炉は今では使われていない □
13. 炎熱の砂漠(ばく)をラクダで進む □
14. 中耳炎で熱が出た □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 44かん たんい2 A

なまえ

/ 16

1. 縄文人は 狩(しゅ) □(りょう) と採集で暮らした
2. 船の □(かん) 板(ばん) に出る
3. 家(か) □(ちく) の伝染病が広がる
4. 祖父(そ)の 古(ふる) □(さと) は雪国だ
5. 山で □(りょう) 師(し) のわなを見つける
6. □(かん) 高(だか)い 声で笑う
7. 草原で 牧(ぼく) □(ちく) を営む民族
8. 雪がとけて 山(やま) □(ざと) に春が来る
9. 温泉地の 地獄 めぐりを楽しむ □
10. 湖畔 の家で小説を書く □
11. 新幹線が田園地帯を 疾走 する □
12. プールそうじのあとで 注水 をはじめる □
13. やかんのお湯をポットに 注ぎこむ □
14. 政界を揺るがす 疑獄 が起きた □
15. 湖畔 の宿で夏を過ごす □
16. 全力 疾走 でゴールに飛び込む □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 44かん たんい2 B

なまえ

/ 16

1. 温泉地の 地(じ) □(ごく) めぐりを楽しむ
2. 湖(こ) □(はん) の家で小説を書く
3. 新幹線が田園地帯を □(しっ) 走(そう) する
4. こおった道で足元に □(ちゅう) 意(い) する
5. 電話でピザを □(ちゅう) 文(もん) する
6. 明治の 監(かん) □(ごく) が博物館になった
7. セーヌの 河(か) □(はん) を散歩する
8. 春の □(しっ) 風(ぷう) が木々を揺らす
9. 縄文人は 狩猟 と採集で暮らした □
10. 船の 甲板 に出る □
11. 家畜 の伝染病が広がる □
12. 秋になると 里 の祭(まつ)りでおみこしが出る □
13. 戦車は厚い 装甲 で守られている □
14. この森は 禁猟区 に指定されている □
15. 昔は牛や馬の 畜力 で田畑を耕した □
16. 古里 の友達(だち)から手紙がとどく □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 44かん たんい3 A

なまえ

/ 16

1. ジェンナーが種（しゅ）□（とう）を広めた
2. お札と□（こう）貨（か）を分けて数える
3. 練習で基（き）□（そ）をしっかり固める
4. ピアノの練習で□（ど）力（りょく）を重ねる
5. 兄はとても□（ど）力（りょく）家（か）だ
6. 子供のころに水（すい）□（とう）にかかった
7. □（こう）球（きゅう）が当たって痛い
8. 寺の跡に□（そ）石（せき）だけが残っている
9. お金に潔癖な政治家 □
10. 古戦場の跡を石碑が伝える □
11. 高齢者の福祉に力を入れる □
12. アメリカの人と英語で話す □
13. 父の口癖は早寝早起きだ □
14. 戦国武将の墓碑を訪ねる □
15. 福祉施設でボランティアをする □
16. 空港で英語のアナウンスが流れる □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 44かん たんい3 B

なまえ

/ 16

1. お金に 潔(けつ) □(べき) な政治家
2. 古戦場の跡を 石(せき) □(ひ) が伝える
3. 高齢者の 福(ふく) □(し) に力を入れる
4. アメリカの人と □(えい) 語(ご) で話す
5. 父の 口(くち) □(ぐせ) は早寝早起きだ
6. 校庭に 記(き) 念(ねん) □(ひ) が建つ
7. 福(ふく) □(し) 国家(こっか) を目指す
8. □(えい) 国(こく) の首都はロンドンだ
9. ジェンナーが 種痘 を広めた □
10. 緊張して表情が 硬い □
11. この発見が通信技術の 礎 となった □
12. ピアノの練習で 努力 を重ねる □
13. お札と 硬貨 を分けて数える □
14. 練習で 基礎 をしっかり固める □
15. 読みやすい字を書くように 努める □
16. 天然痘(しょう) は人類が根絶した感染症だ □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 44かん ふりかえり3 A

なまえ

/ 24

1. 洋館の居間で 暖(だん) の火が燃える □(ろ)
2. かぜをこじらせて 肺(はい) になる □(えん)
3. 縄文人は 狩(しゅ) と採集で暮らした □(りょう)
4. 船の □(かん) 板(ばん) に出る
5. 家(か) の伝染病が広がる □(ちく)
6. ジェンナーが 種(しゅ) を広めた □(とう)
7. お札と □(こう) 貨(か) を分けて数える
8. 練習で 基(き) をしっかり固める □(そ)
9. 鉄板の表面に □(あ) 鉛(えん) をめっきする
10. 祖父の 古(ふる) は雪国だ □(さと)
11. ピアノの練習で □(ど) 力(りょく) を重ねる
12. 沖縄は □(あ) 熱(ねっ) 帯(たい) の気候だ
13. 毎朝家族のご飯を 炊く □
14. 結果を 焦る あまり無理をする □
15. 環境を 犠牲 にした開発を見直す □
16. 温泉地の 地獄 めぐりを楽しむ □
17. 湖畔 の家で小説を書く □
18. 新幹線が田園地帯を 疾走 する □
19. お金に 潔癖 な政治家 □
20. 古戦場の跡を 石碑 が伝える □
21. 高齢者の 福祉 に力を入れる □
22. 夏の夜にほたるが 光る □
23. プールそうじのあとで 注水 をはじめる □
24. アメリカの人と 英語 で話す □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 44かん ふりかえり3 A-2

なまえ

/ 24

1. 品質を 犠(ぎ) □(せい) にして値段を下げる
2. 有名画家の □(あ) 流(りゅう) にとどまる作品
3. ベンガルトラはトラの □(あ) 種(しゅ) だ
4. 兄はとても □(ど) 力(りょく) 家(か) だ
5. 作文で □(ど) 力(りょく) 賞(しょう) をもらう
6. 点検で 原(げん) 子(し) □(ろ) を止める
7. 寺の 香(こう) □(ろ) から煙が立ち上る
8. □(えん) 天(てん) 下(か) の練習で汗をかく
9. SNSの発言が □(えん) 上(じょう) する
10. 犠(ぎ) □(せい) 打(だ) で勝ち越す
11. 山で □(りょう) 師(し) のわなを見つける
12. ゾウの 密(みつ) □(りょう) が後を絶たない
13. □(かん) 高(だか) い 声で笑う
14. 朝の 日光 をあびて目をさます
15. 月光 が海をてらしている
16. やかんのお湯をポットに 注ぎこむ
17. 店員さんがテーブルで 注文 をきく
18. 被災地で 炊き出し が行われる
19. 冷めた風呂を 追い炊き する
20. フライパンの 焦げ付き を落とす
21. 落雷で大木が 黒焦げ になった
22. 送りバントの 犠打 で走者を進める
23. 政界を揺るがす 疑獄 が起きた
24. 無実が証明されて 出獄 した

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 44かん ふりかえり3Ｂ

なまえ

/ 24

1. 下宿先で毎日 自(じ)[すい]する
2. 議論の[しょう]点(てん)がずれる
3. 温泉地の地(じ)[ごく]めぐりを楽しむ
4. 湖(こ)[はん]の家で小説を書く
5. 新幹線が田園地帯を[しっ]走(そう)する
6. お金に潔(けっ)[ぺき]な政治家
7. 古戦場の跡を石(せき)[ひ]が伝える
8. 高齢者の福(ふく)[し]に力を入れる
9. ふとんに日(にっ)[こう]を当ててほす
10. こおった道で足元に[ちゅう]意(い)する
11. アメリカの人と[えい]語(ご)で話す
12. 洋館の居間で 暖炉 の火が燃える
13. かぜをこじらせて 肺炎 になる
14. 品質を 犠牲 にして値段を下げる
15. 縄文人は 狩猟 と採集で暮らした
16. 船の 甲板 に出る
17. 家畜 の伝染病が広がる
18. ジェンナーが 種痘 を広めた
19. 緊張して表情が 硬い
20. この発見が通信技術の 礎 となった
21. 恐竜が栄えた 白亜紀 の地層を調べる
22. 秋になると 里 の祭(まつ)りでおみこしが出る
23. ピアノの練習で 努力 を重ねる
24. ヒット作の 亜流 が次々に現れる

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 44かん ふりかえり3 B-2

なまえ

/ 24

1. 環境を□(ぎ)性(せい)にした開発を見直す
2. ヒーローが手から□(こう)線(せん)を出す
3. 外国の人が観(かん)□(こう)に来る
4. 電話でピザを□(ちゅう)文(もん)する
5. 転校生がクラスの□(ちゅう)目(もく)を集める
6. 林間学校で□(すい)事(じ)の係になる
7. 鍋(なべ)の残りのだしで雑(ぞう)□(すい)を作る
8. 結果が出ず□(しょう)燥(そう)の色を隠せない
9. 戦争で町が□(しょう)土(ど)と化した
10. 九回に□(ぎ)飛(ひ)で一点を返す
11. 明治の監(かん)□(ごく)が博物館になった
12. 反乱を企てた罪で投(とう)□(ごく)される
13. 北海道の大部分は 亜 寒 帯 に属する
14. 亜 麻 色 の長い髪が風になびく
15. 読みやすい字を書くように 努 め る
16. 毎日の 努 力 が実を結ぶ
17. 古民家の 囲 炉 裏 で魚を焼く
18. 学校の 焼 却 炉 は今では使われていない
19. 炎 熱 の砂漠(ばく)をラクダで進む
20. 真夏の 炎 暑 が続く
21. この森は 禁 猟 区 に指定されている
22. 猟 友 会 がクマの見回りをする
23. 夏の 甲 子 園 をめざして練習する
24. 甲 骨 文 字 を博物館で見る

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 44かん たんい4 A

なまえ

/ 16

1. 考え方が幼（よう）□（ち）だと言われる
2. 事件もなく平（へい）□（おん）な一日だった
3. 煙で□（ちっ）息（そく）しないよう低く逃げる
4. 遠くの山に山（やま）□（ざくら）がさいている
5. 家族で公園の夜（よ）□（ざくら）を見に行く
6. 干潟にアサリの□（ち）貝（がい）をまく
7. もめごとを□（おん）便（びん）に済ませる
8. □（ちっ）化（か）ガリウムで青く光るLED
9. アワの穂を小鳥のえさにする
10. 農家が田んぼの米を収穫する
11. モールス符号で救助を求める
12. 本堂は厳かな空気に包まれる
13. 猛暑の影響で稲の出穂が例年より早い
14. 台風に備えて窓を厳重に閉める
15. 修学旅行で得た収穫は大きい
16. 文の終わりに疑問符を付ける

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 44かん たんい4 B

なまえ

/ 16

1. 実るほど頭を垂れる稲(いな)[ほ]かな
2. 農家が田んぼの米を収(しゅう)[かく]する
3. モールス[ふ]号(ごう)で救助を求める
4. 銀行は[げん]重(じゅう)に守られている
5. 遠足の集合時間を[げん]守(しゅ)する
6. 農家が神前に初(はつ)[ほ]をささげる
7. 村の収(しゅう)[かく]祭(さい)に参加する
8. 二人の証言が[ふ]合(ごう)する
9. 考え方が幼稚だと言われる
10. 事件もなく平穏な一日だった
11. 煙で窒息しないよう低く逃げる
12. 入学式の日に校庭の桜がさく
13. 今日の海は波もなく穏やかだ
14. ハイキングの道で山桜の花を見つける
15. 水族館の水そうでふ化した稚魚が泳ぐ
16. 空気の約八割は窒素でできている

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 44かん たんい5 A

なまえ

/ 16

1. 元首相が危□と報じられる（とく）
2. 日本の国□を取得する（せき）
3. 食べ物を□末にしない（そ／まつ）
4. やかんの口から□気が出る（じょう／き）
5. 重□な副作用はまれだ（じゅう／とく）
6. 専門の書□を取り寄せる（しょ／せき）
7. 開店記念に来店者へ□品を配る（そ／しな）
8. 水たまりの水が□発する（じょう／はつ）
9. 経理担当が会社の帳簿をつける
10. 小説の一部を抜粋して載せる
11. 打者がファウルで粘る
12. 初恋を歌った曲が人気だ
13. 母が小粋な帽子をかぶって出かける
14. 陶芸教室で粘土をこねる
15. ドラマで主役の恋人を演じる
16. 法務局で土地の登記簿を調べる

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 44かん たんい5 B

なまえ

/ 16

1. 経理担当が会社の帳（ちょう）□（ぼ）をつける
2. 小説の一部を抜（ばっ）□（すい）して載せる
3. 陶芸教室で□（ねん）土（ど）をこねる
4. 初（はつ）□（こい）を歌った曲が人気だ
5. □（れん）愛（あい）を描いた映画を見る
6. 同窓会の名（めい）□（ぼ）を作る
7. 祖父は町で□（すい）人（じん）として知られた
8. 口の中の□（ねん）膜（まく）をかんでしまう
9. 元首相が危篤と報じられる
10. 日本の国籍を取得する
11. 目の粗いざるで豆の水を切る
12. 昔の機関車は蒸気の力で走った
13. 食べ物を粗末にしない
14. 篤志家の寄付で図書館が建った
15. 生まれた子を戸籍に記載する
16. コップの水が蒸発して少しへった

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 44かん たんい6 A

なまえ

/ 14

1. 登山隊が十日分の□(りょう)食(しょく)を運ぶ
2. 就職活動で濃(のう)□(こん)のスーツを着る
3. 大関が横(よこ)□(づな)に昇進した
4. □(とく)名(めい)でアンケートに答える
5. ナスが紫(し)□(こん)に色づく
6. 政府が改革の大(たい)□(こう)を決めた
7. 電車で定期券を紛失する □
8. ぞうきんを固く絞る □
9. この町は宿場町として繁栄した □
10. 犯人が群衆に紛れる □
11. 紛らす □
12. 日本の法律は絞首刑による執行を定めている □
13. 過度な値下げは自分の首を絞める □
14. サケは生まれた川に戻(もど)って繁殖する □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 44かん たんい6 A-2

なまえ

/ 12

1. 差し押さえ前に財産を隠（いん）□（とく）する
2. 記者が取材源を秘（ひ）□（とく）する
3. 秀吉は鳥取城の□（りょう）道（どう）を断った
4. □（こん）地（じ）に白い花柄の浴衣
5. 不正が続いた役所が□（こう）紀（き）を正す
6. 審議会が法案の要（よう）□（こう）をまとめる
7. 冗談で不安を紛らわす □
8. 二つの薬は名前が紛らわしい □
9. 絞まる □
10. 候補を三人に絞り込む □
11. 夏は雑草が繁茂する □
12. 年末は宅配便の繁忙期だ □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 44かん たんい6 B

なまえ

/ 14

1. 電車で定期券を ふん 失(しつ) する
2. ぞうきんを固く しぼる
3. この町は宿場町として はん 栄(えい) した
4. 国境をめぐる ふん 争(そう) が続く
5. 解決のために知恵を しぼる
6. 都心の はん 華(か) 街(がい) を歩く
7. 登山隊が十日分の 糧食 を運ぶ
8. 紺 の表紙の手帳を使う
9. 大関が 横綱 に昇進した
10. 匿名 でアンケートに答える
11. 若いころに読んだ本が 心の糧 になった
12. 政府が改革の 大綱 を決めた
13. インターネットの 匿名性 を悪用した書き込み
14. 夜明け前の空は深い 紺色 だ

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 44かん ふりかえり6 A

なまえ

/ 24

1. 洋館の居間で暖（だん）□（ろ）の火が燃える
2. 品質を犠（ぎ）□（せい）にして値段を下げる
3. 縄文人は狩（しゅ）□（りょう）と採集で暮らした
4. 家（か）□（ちく）の伝染病が広がる
5. ジェンナーが種（しゅ）□（とう）を広めた
6. 練習で基（き）□（そ）をしっかり固める
7. 考え方が幼（よう）□（ち）だと言われる
8. 煙で□（ちっ）息（そく）しないよう低く逃げる
9. 元首相が危（き）□（とく）と報じられる
10. 食べ物を□（そ）末（まつ）にしない
11. 登山隊が十日分の□（りょう）食（しょく）を運ぶ
12. 大関が横（よこ）□（づな）に昇進した
13. かぜをこじらせて肺炎になる□
14. 船の甲板に出る□
15. 緊張して表情が硬い□
16. 事件もなく平穏な一日だった□
17. 日本の国籍を取得する□
18. 紺の表紙の手帳を使う□
19. 恐竜が栄えた白亜紀の地層を調べる□
20. 秋になると里の祭（まつ）りでおみこしが出る□
21. ピアノの練習で努力を重ねる□
22. 入学式の日に校庭の桜がさく□
23. 昔の機関車は蒸気の力で走った□
24. 匿名でアンケートに答える□

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 44かん ふりかえり6 B

なまえ

/ 24

1. 議論の□点（しょうてん）がずれる
2. 湖（こ）□（はん）の家で小説を書く
3. 古戦場の跡を石（せき）□（ひ）が伝える
4. 農家が田んぼの米を収（しゅう）□（かく）する
5. 小説の一部を抜（ばっ）□（すい）して載せる
6. ぞうきんを固く□（しぼる）
7. ふとんに日（にっ）□（こう）を当ててほす
8. こおった道で足元に□（ちゅう）意（い）する
9. アメリカの人と□（えい）語（ご）で話す
10. 銀行は□（げん）重（じゅう）に守られている
11. 初（はつ）□（こい）を歌った曲が人気だ
12. ヒーローが手から□（こう）線（せん）を出す
13. 毎朝家族のご飯を炊く□
14. 環境を犠牲にした開発を見直す□
15. 温泉地の地獄めぐりを楽しむ□
16. 新幹線が田園地帯を疾走する□
17. お金に潔癖な政治家□
18. 高齢者の福祉に力を入れる□
19. アワの穂を小鳥のえさにする□
20. モールス符号で救助を求める□
21. 経理担当が会社の帳簿をつける□
22. 打者がファウルで粘る□
23. 電車で定期券を紛失する□
24. この町は宿場町として繁栄した□

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 44かん かん字のしくみ 1

なまえ

/ 18

6	5	4	3	2	1
犠	牲	焦	炎	炊	炉
部首	部首	部首	部首	部首	部首

12	11	10	9	8	7
疾	畜	畔	甲	獄	猟
部首	部首	部首	部首	部首	部首

18	17	16	15	14	13
祉	礎	碑	硬	癖	痘
部首	部首	部首	部首	部首	部首

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 44かん かん字のしくみ 2

なまえ

/ 17

1 稚 部首

2 穂 部首

3 穏 部首

4 穫 部首

5 窒 部首

6 符 部首

7 篤 部首

8 簿 部首

9 籍 部首

10 粋 部首

11 粗 部首

12 粘 部首

13 糧 部首

14 紛 部首

15 紺 部首

16 絞 部首

17 綱 部首

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 44かん ふたつのよみ

なまえ

/ 24

次の——線の漢字の読みをひらがなで□に記せ。

1. 昔は 煮 炊 き にまきを使っていた □
2. 鍋(なべ)の残りのだしで 雑 炊 を作る □
3. 戦争で町が 焦 土 と化した □
4. 終盤の 焦 り からミスが続いた □
5. 父の 口 癖 は早寝早起きだ □
6. 若いころの 放 浪 癖 が抜けない □
7. 寺の跡に 礎 石 だけが残っている □
8. この発見が通信技術の 礎 となった □
9. 猛暑の影響で稲の 出 穂 が例年より早い □
10. アワの 穂 を小鳥のえさにする □
11. 祖父は町で 粋 人 として知られた □
12. 母が 小 粋 な帽子をかぶって出かける □
13. はちみつは水より 粘 性 が高い □
14. 粘 り 気 のある納豆 □
15. 若いころに読んだ本が 心 の 糧 になった □
16. 戦国の城は蔵に 兵 糧 を蓄えた □
17. 電車で定期券を 紛 失 する □
18. 苦 し 紛 れ の言い訳をする □
19. 日本の法律は 絞 首 刑 による執行を定めている □
20. 候補を三人に 絞 り 込 む □
21. 資金が尽きかけ 綱 渡 り の経営が続く □
22. 不正が続いた役所が 綱 紀 を正す □
23. 夏の夜にほたるが 光 る □
24. 夜のまどから 月 光 がさしこむ □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 44かん じゅくごのくみたて

なまえ

/ 20

二字の意味のつながりを考え、合う説明の記号を書きましょう。

- ア 意味の近い二字 — 温暖
- イ 反対の意味や対になる二字 — 左右
- ウ 前の字が、後ろの字の様子や種類を示す — 急行
- エ 後ろの字が、前の字の動作の対象を示す — 読書
- オ 前の字が、後ろの字の意味を否定する — 未定

1. 暖炉 □
2. 焦燥 □
3. 犠牲 □
4. 狩猟 □
5. 投獄 □
6. 甲板 □
7. 河畔 □
8. 畜舎 □
9. 眼疾 □
10. 水痘 □
11. 口癖 □
12. 強硬 □
13. 石碑 □
14. 定礎 □
15. 福祉 □
16. 幼稚 □
17. 稲穂 □
18. 穏便 □
19. 収穫 □
20. 符号 □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 44かん はんたいとにたいみ

なまえ

/ 12

次の対義語・類義語を後の□の中から選び、漢字で記せ。□の中の語は一度だけ使うこと。

対…対義語
類…類義語

1 対 厳寒 ―

2 対 細目 ―

3 対 成熟 ―

えんしょ・たいこう・ようち

4 対 強硬 ―

5 対 精巧 ―

6 対 簡略 ―

7 類 優劣 ―

8 類 重体 ―

おんけん・きとく・こうおつ・そざつ・はんざつ

9 類 一致 ―

10 類 精進 ―

11 類 根本 ―

12 類 遊覧 ―

かんこう・きそ・どりょく・ふごう

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 44かん よじじゅくご

なまえ

/ 14

読みを確かめて、□へ漢字一字を書きましょう。

1. 夏□冬扇（ロ）
2. 気□万丈（エン）
3. 人□無害（チク）
4. 大声□呼（シッ）
5. 平□無事（オン）
6. 温厚□実（トク）
7. □製濫造（ソ）
8. □紀粛正（コウ）
9. 眼□紙背（コウ）
10. 一望千□（リ）
11. 奮闘□力（ド）
12. □雄豪傑（エイ）
13. □正中立（ゲン）
14. 商売□盛（ハン）

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 44かん ごじをなおす

なまえ

/ 24

次の文にまちがって使われている同じ読みの漢字が一字ある。上に誤字を、下に正しい漢字を書きなさい。

1. 寺の香路から煙が立ち上る
   誤 ［　］ 正 ［　］
2. 鍋（なべ）の残りのだしで雑吹を作る
   誤 ［　］ 正 ［　］
3. SNSの発言が沿上する
   誤 ［　］ 正 ［　］
4. 議論の照点がずれる
   誤 ［　］ 正 ［　］
5. 犠誓打で勝ち越す
   誤 ［　］ 正 ［　］
6. ゾウの密寮が後を絶たない
   誤 ［　］ 正 ［　］
7. 思想家が極中で本を書いた
   誤 ［　］ 正 ［　］
8. 館高い声で笑う
   誤 ［　］ 正 ［　］
9. セーヌの河版を散歩する
   誤 ［　］ 正 ［　］
10. 冬に備えて蓄舎を修理する
    誤 ［　］ 正 ［　］
11. 祖父は眼質のため運転をやめた
    誤 ［　］ 正 ［　］
12. 子供のころに水討にかかった
    誤 ［　］ 正 ［　］
13. 后球が当たって痛い
    誤 ［　］ 正 ［　］
14. 古戦場の跡を石飛が伝える
    誤 ［　］ 正 ［　］
15. 新しいビルの定粗の文字を見る
    誤 ［　］ 正 ［　］
16. 高齢者の福諮に力を入れる
    誤 ［　］ 正 ［　］
17. 年を重ねても治気を失わない
    誤 ［　］ 正 ［　］
18. もめごとを恩便に済ませる
    誤 ［　］ 正 ［　］
19. 村の収較祭に参加する
    誤 ［　］ 正 ［　］
20. モールス富号で救助を求める
    誤 ［　］ 正 ［　］
21. 重督な副作用はまれだ
    誤 ［　］ 正 ［　］
22. 同窓会の名募を作る
    誤 ［　］ 正 ［　］
23. 三年間吹奏楽部に在斥した
    誤 ［　］ 正 ［　］
24. 人の恋路に口を出すのは無帥だ
    誤 ［　］ 正 ［　］

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 44かん おなじおんのかんじ

なまえ

/ 24

次のカタカナを漢字に直して、□に記せ。

1. 点検で原子（げんし）□（ロ）を止める
2. 十字（じゅうじ）□（ロ）で信号を待つ
3. 鍋（なべ）の残りのだしで雑（ぞう）□（スイ）を作る
4. 小説の一部を抜（ばっ）□（スイ）して載せる
5. 口内（こうない）□（エン）ができて痛い
6. ゴリラは類人（るいじん）□（エン）だ
7. 戦争で町が□（ショウ）土（ど）と化した
8. 野球の大会で決（けっ）□（ショウ）に進む
9. □（セイ）名（めい）をローマ字で書く
10. 自己犠（じこぎ）□（セイ）に涙する
11. 縄文人は狩（しゅ）□（リョウ）と採集で暮らした
12. 新監督の荒（あら）□（リョウ）治（じ）が効く
13. 思想家が□（ゴク）中（ちゅう）で本を書いた
14. 千（せん）□（ゴク）船（ぶね）で荷を運んだ
15. □（カン）高（だか）い声で笑う
16. 非常用の□（カン）詰（づめ）を備蓄する
17. 大航海時代の□（ハン）船（せん）が海を渡る
18. セーヌの河（か）□（ハン）を散歩する
19. 冬に備えて□（チク）舎（しゃ）を修理する
20. □（チク）林（りん）の中はひんやりしている
21. 水にとける物（ぶっ）□（シツ）を調べる
22. 祖父は眼（がん）□（シツ）のため運転をやめた
23. 議員が□（トウ）派（は）をこえて協力する
24. 子供のころに水（すい）□（トウ）にかかった

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10